

## 整形外科手術部位感染（SSI）データベースを用いた予後因子の探索

### 1. はじめに

今回の研究で用いるデータベースは、関東近郊 7 施設（地域中核病院）のデータをもとに、整形外科 SSI 研究会 (Society for Orthopaedic Surgical site infection : OSSSI 研究会) により整備されたものである。本データベースの整えられた背景として、清潔整形外科手術の SSI 予防を目的とした臨床研究の不足がある。理由の一つとしては、SSI の発生頻度は低く、通常膨大なサンプルサイズが必要となるという問題がある。実現するためには多施設で SSI を前向きに評価する基盤が必要であり、清潔整形外科手術特有のデータベースの確立が不可欠と考えられた。そこで、多施設で共有できる清潔整形外科手術特有の SSI データベースを構築するための研究が施行された。

### 2. 先行解析

- ・脊椎インストゥルメンテーション手術の SSI リスク（2017/05, 第 90 回日本整形外科学会学術総会）
- ・術式別の SSI 割合（2017/05, 第 90 回日本整形外科学会学術総会）
- ・若年者・高齢者の SSI リスクの相違（戸澤慧一郎先生ら, 2016/05/15, 第 89 回日本整形外科学会学術総会）
- ・清潔外科手術における手術終了時低体温（ $<36^{\circ}\text{C}$ ）と SSI リスクの関係
- ・一次解析による様々なリスク要因（大庭紗希先生ら, 2016/05/15, 第 89 回日本整形外科学会学術総会）

### 参考

日本整形外科学会学術総会